

科目名		薬理学演習	
科目責任者	高橋 富美	(薬理学 教授)	
担当者	豊平 由美子	(薬理学 准教授)	
担当者	石 兼 真	(薬理学 講師)	
開講時期:	2～3年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>個体レベル・細胞レベルで薬理学的効果を判定する手法を学び、その手技を演習を通して取得する。さらに論文の抄読会、研究セミナー、薬理学会などの多くの機会を通して、薬理学全般にわたる科学的基礎知識を習得するとともに演習する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 薬理学的手法を動物実験・細胞実験に応用することができる。 2) 薬理学的手法の応用における問題点を論じることができる。 3) 薬理学的手法により得られた結果を解析し、その意義を議論することができる。 4) 英語の科学論文を読み、それを抄読会において解説、紹介できる。 5) 研究成果をまとめて、研究セミナーと発表できる。 			
● 評価方法	検討会での討論 (50%程度)・発表 (50%程度) 等で総合評価する。		
● 参考文献	演習の中で必要に応じ紹介する。		